

平成24年度公開会員研修会

テーマ 「最近における食品安全に関する話題について」

平成23年度は東日本の地震・福島原発事故の直後の混乱のうちにスタートし、1年を経過しても解決されない問題が山積している。食品の放射能汚染と健康影響、生肉摂取による食中毒、食品表示の一元化、BSE対策の再評価など食の安全に関わる問題が発生し、今年度に継続する課題となっている。

NPO 法人食科協では、昨年度社会問題となったこれらの問題を整理し、より適切な対応に資するため、総会時における公開会員研修会のテーマとすることにした。

また、今回のテーマは会員以外からの要望もあり、例年研修会を公開しているところから、下記のとおり開催することとしました。

日時 平成24年5月28日(月) 14時から16時半まで

場所 財団法人日本科学技術連盟 本部1号館 講堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11 TEL:03-5843-2051

プログラム

座長 森田 邦雄 (NPO 法人食品保健科学情報交流協議会専務理事)

開会挨拶

関澤 純 (理事長)

(1) 基調講演「最近の食品安全行政の動向」 滝本浩司 (厚生労働省監視安全課課長)

(2) 講演2「食品表示の現状と課題について～食品表示の一元化について～」

今川正紀 (消費者庁食品表示課課長補佐)

(3) 意見交換会 座長 森田邦雄

パネリスト 上記2名の演者

閉会

参加費 (資料代等) 3,000円(非会員) 無料 (会員) 賛助会員は1会員につき3名まで無料